



◆ インドネシア共和国との交流



影響で延期する調整をしている。今後は協議を重ねながら方向性を探っていききたい。農業交流については、新型コロナウイルスの影響で予定していたインドネシア農業省職員との視察受け入れが困難となった。定期的に連絡を取りながら人的信頼関係の維持や情勢把握を重ね、状況改善後の事業実施に取り組む。経済交流は結果として、検疫等の制約、物流、商業的習慣といった課題が多く関係構築するまでに至っていない。関係性の維持に努めながら将来的に経済交流につながるチャンスを見逃さないよう、注視していく。

**答弁** 計画を明快に示すことができないことは反省しているので、今後は努力する。

**質問** 「事業」というのは、大本の計画があつて進んでいくものではないのか？それがなると、現場の担当部署も困るのではないかと？

**答弁** たしかに計画があつて進めるべきだと思う。ただ、まだ交流が始まったばかりでお互いが調査、確認をし合っている状況にある。

**質問** 交流事業を市民や民間の理解を得ながら一緒に進めるためにも、包括的な事業計画をつくるべきだと思うがどうか？

12月定例会

令和2年度一般会計補正予算案を可決

12月定例会が11月30日～12月16日の会期で行われました。最終日に各議案の採決があり、令和2年度の一般会計補正予算案(第11号・第12号)を可決しました。累計額は684億3千万円となります。主な事業は次のとおりです。

●ふるさと納税PR事業【5923万円】  
今年度の寄附金受入額が当初予算を上回る見込みとなったことに伴う返礼品経費の増額

●中小企業経営安定支援事業【600万円】

県の「経営安定資金」における新型コロナウイルス感染症対策枠の融資を受けた市内中小企業の保証料相当分を助成

●地方道路交付金事業【1936万円】  
落合橋橋梁補修工事で、基準値を超える鉛が検出されたことへの対策費。

●ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業【3700万円】  
新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減が生じている低所得のひとり親世帯に臨時特別給付金を再支給。

※10月28日に行われた臨時会において、新型コロナウイルス対策のための令和2年度一般会計補正予算案(第10号)を全員賛成で可決しました。

伊藤教育長を再任

定例会初日に伊藤孝俊教育長の再任案が上程され、全員賛成でこれに同意しました。今後も横手市のより良い教育行政のために、尽力されることを期待します。

県外在住の市出身学生に特産品で支援！

横手市は、新型コロナウイルス感染症の急拡大の中、頑張っている県外居住の市出身学生に5,000円相当の特産品を送る「学生支援キャンペーン」を実施しています。

対象は高校、専門学校、短大、大学、大学院、予備校などに在籍する学生で保護者が横手市に住民登録していることが条件です。1月31日(日)まで申請を受け付けています。

【問い合わせ先】 横手市商工観光部 横手の魅力営業課 ☎0182-32-2117

ブログ「横手市議会議員 青山ゆたかの活動日記」好評(?)更新中! <http://blueyama.com/blog/>

フェイスブック：青山豊 (yutaka aoyama)